

小学六年生と学ぶこと

下野市教育委員会 生涯学習文化課

平成二十七年四月にしもつけ風土記の丘資料館

が県から移管されました。昨年からの二か年で、

五千人以上の小学六年生が資料館と下野国分寺跡・

古墳などの見学に訪れてくれました。昨年十一月

に県埋蔵文化財センターにも展示室ができました。

ここでは県内全域の旧石器〜室町時代頃までの通

史的な見学ができます。風土記の丘資料館では、

古墳時代の「毛野国・那須国」から奈良・平安時

代の「下野国」に関しての代表的な古墳や下野国府、

国分寺・尼寺、下野薬師寺などについて、少し詳

しくお話をさせていただいています。特に市内の

児童の皆さんには、市内の豊富な調査履歴を参考

に当市は安全であることについてお話をしていま

す。ただし、古い記録には、竜巻や降雹、昨年九

月の水害のような被害があり、そのような場合は

すぐに先生方の指示に従い安全に避難するよう話

しています。

このほか、国分寺の七重の塔は、新庁舎（四階

建て、高さ約二十メートル）を三つ重ねた高さで説明す

ると皆さんびっくりしています。

また、昨年から四千人以上の児童の皆さんに二

つの質問をしています。一つは「歴史は面白いです

か？」（あえて勉強とは聞きません）。この問いに

約七割の皆さんが面白いと答えてくれます。関連

して「ではなぜ？」と再質問。「知らない人たちの

ことや昔の暮らしなどがわかって面白い」との回

答。六年生は五月頃古墳時代、六月に奈良時代の

学習に入るような進み具合です。児童たちは教科

書で学習した古墳が身近にあり、見学で古墳にの

ぼり、いかに大きいかを体感します。しかし、県

内最大の古墳でも日本で一番大きい大仙（山）古

墳（伝仁徳天皇陵）は更に四倍の大きさであること、

日本中には約十六万基の古墳が造られ、前方後円

墳は約四千基造られたようですが、北海道・青森県・

秋田県・沖縄県では現在のところ発見されていな

い（見つかる）と歴史が変わります）こと、約百年前、

県内には約七千基（近年の研究では約六千三百基）

の古墳があったこと、市内には二百基（把握され

ている数、未確認は相当数）以上あることやなぜ

前方後円墳が造られたのかなどのお話をしていま

す。さらに奈良時代には、十七歳以上の男子数人

に一人は、下野国府（栃木市）から税としての米

を背負って平城京まで三十数日間で行くと決めら

れていたこと、さらに四人に一人程度の割合で、九

州まで防人として行かなければならなかったこと、

国分寺・尼寺は現在に例えようと大学に類する機関

で、土木技術や医療・薬学・暦・農業などの知識

を持ったお坊さんが配属されていたことなどについ

て説明しています。

二つ目の質問「なぜ六年生になると日本の歴史

について学習するのでしょうか」。この質問に対す

る答えは様々です。筆者も大学で「なぜ歴史の勉

強をするのか」。「歴史とは何か」との問いがあり

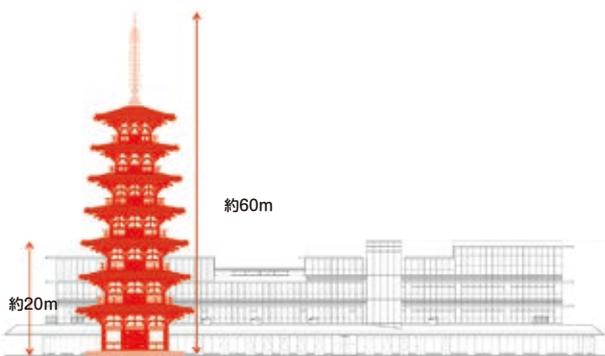
ました。模範的解答の一つは「温故知新」です。

さらに「これまで人類が起こしてきた過ちを二度

と繰り返さないため」と広島市の記念碑に記されて

います。

市役所新庁舎と下野国分寺七重塔の比較



しもつけクイズ

問3

- ① 男女で役割分担が、なんとなく決まっていることをなんていうでしょう？
- ② 流動的性別役割分担
- ③ 恒常的性別役割分担
- ④ 固定的性別役割分担